臺灣日日新報 (月曜日) 昭和十二年十二月十三日 第一六三二二號 (一)
第二版 (原圖配置)
臺灣昌新報 夕刊
十二月十二日
經二部一種定刊夕刊
商 木々佐 人行設發郵認
臺灣總督府日日新聞社 所行發
優良國產 喜牌受領 國ソース

江浦城を襲ひ 大部隊を擊滅

對岸から南京を睥睨

(當塗十二日發同盟) 奇襲よく效を奏し揚子江對岸に上陸一擧に島江鎭を拔き更に進擊中の長野、山田各部隊は十二日午前十時過ぎ揚子江北岸南京西方の江浦城に現はれ、同方面に集結中だつた敵大部隊を擊滅し北岸より南京を睥睨してゐる、これに依り敵の北方の退路は完全に遮斷された、南京の敵は愈々袋の鼠となり殘滅の悲運に陷るか降伏かの二つあるのみとなつた

銃砲聲南京を震撼

【光華門十二日發同盟至急報】殘敵と激戰中の富士井、伊佐兩部隊は砲兵隊の中山門破壞と協力、一方脇坂、人見部隊も激戰中で曉のしじまを破る銃砲聲は今朝七時を過ぎるも繼續中で午前九時頃から始まつた我が爆擊は十時頃より激烈を極め南京の天地を震撼し壯烈を極めてゐる

【光華門十二日發同盟】殘敵と激戰中の富士井、伊佐兩部隊は砲兵隊の中山門破壞と協力、一方脇坂、人見部隊も激戰中で曉のしじまを破る銃砲聲は今朝七時を過ぎるも繼續中で午前九時頃から始まつた我が爆擊は十時頃より激烈を極め南京の天地を震撼し壯烈を極めてゐる

に依れば支那兵は小さな筏に乘つてひつきりなしに揚子江を渡つてゐるが支那の一將校が同揚子江に臨つた所に依ると揚子江内には尙五方の支那兵がゐると言はれる

無湖の殘敵掃蕩

○○に向けて進擊

【蕪湖十二日發同盟】片岡、小坂、原山、野副各部隊は十日殲後までに蕪湖附近一帶の殘敵掃蕩を第十七二日午前八時三十分蕪湖附近を北と○○に向け進擊を開始した

破れかぶれで抗戰

【ニューヨーク十一日發同盟】ヘラルドトリビューン上海特派員が漢口の外人筋から得た消息として傳へる所に依ると支那當局當局者は首都破れかぶれとなつた上は暗くまで抗戰を續けるのみとの決意を示してゐると言はれる、尙ニューヨークタイムス南京特派員アーベント氏は南京に於ける支那軍の大敗は支那の內紛に依るものだと報道し注意を拂つてゐる

斷末魔の捨臺詞

【上海十一日發同盟】南京陷落司令官唐生智は十日來の南京防衛に關し十二日午後五時四十五分左の如く發表、斷末魔の捨臺詞を吐いた

光榮に輝く十二日午後五時四十五分左の如く發表、斷末魔の捨臺詞を吐いた

一、我軍は敵の總攻擊に十日午後六時頃迄に南京城內に入つた

二、我軍は南京城內に於て敵軍の殘存部隊を掃蕩し南京城內の治安を維持する

三、我軍は南京城內に於ける一般人民の生命財產を保護する

四、我軍は南京城內に於ける外國人の生命財產を保護する

五、我軍は南京城內に於ける外國人の生命財產を保護する

豪語〝徹底抗日〟も 自己保全の擬裝

眼中國家なき醜態の暴露に 諸外國もただ唖然

【上海十一日發同盟】南京攻略の目的を達成した陸は宋美齡を引き具して逃亡し長期抵抗を呼號した中央政府も國民政府の解體を完全に暴露した、併しこれは我が皇軍の勇敢無比なる攻擊と海、空二軍一體の勇敢無比なる協同とその作戰指導に世界戰史上未曾有の完璧の效果に依り國民政府軍數十萬の主力を殲滅し國民政府の一大分裂崩壞作用により遂に十日夕刻南京城內に入り南京城を攻略したのだ、今後殘敵の掃蕩は勿論だが、今後殘敵の掃蕩は勿論だが、今後殘敵の掃蕩は勿論だが

國民政府跡形もなく
白煙噴く南京
機上から攻略戰を觀る
首都の中央に聳て大日章旗が飜る

【○○特派員十一日發本社特電】本日晴れ渡つた午前○○時に同勇しく飛び立つた、機上は朝靄未だ晴れず五十分前離陸した頃には下界は一面の雲海で、眼下に時折ちら〳〵と見える山の頭が島の如く浮かんでゐるばかり、機は高度一千米突を保つて南京に向ふ、雲の切れ目から時々見える地上は一面の銀世界で、雪の上に點々と黒い影を落してゐるのは人間か家畜か、それとも岩か木か全く見分けがつかない、高度を下げて見ようにも機上からは全く地上の様子が分らない、やがて雲の切れ目から揚子江が見え出した、江岸に沿ふて

臺灣日日新報
本日夕刊共十頁
夕刊定價一部二錢

きのふは終日 立體攻略戰展開

皇軍の果敢な猛擊で 南京最後の日は迫る

（麒麟門にて十二日同盟特派員發至急報）十二日の立體攻略戰は激戰を以て終始した敵の夜襲を擊退し又た城內一番乘りの脇坂部隊は城壁より次第に戰果を擴張して正午過ぎ早くも城內に進入し光華東街及び西街に兵を進め砲兵隊は中山門より光華門に至る城壁に向つて巨砲の集中砲火を浴せて中山門右半面の鐵扉を粉砕、陸軍飛行隊は敵砲兵の有力な觀測所たる紫金山中腹の展望臺に猛爆を加へて之を爆破した、海軍航空隊は大型機翼を連ね城內上空を飛び中山路を中心とする中山門內側の故宮飛行場其他軍事委員會、軍官學校等の敵陣地に連續爆擊を加へ長谷川部隊の中華門占領に依り城壁上の日章旗は更にその數を增し城內の敵に一層の威壓を與へ南京最後の日は今やすの彼方下關附近及び浦口方面は黑煙をあげて炎燒中である

中華門を遂に占領

【雨花臺十二日發同盟至急報】長谷川部隊は十二日午後零時半中華門を占領、城壁高く日章旗を飜へした

中華門は蕪湖街道の起點

【雨花臺十二日發同盟】我軍の手に歸した中華門は蕪湖街道の起點に當り南京四圍の城門中最堅固な防備が施され二重の城壁で敵は之を兩側の堅壘として死守した、中華門及び光華門の陷落で漣漪門は最早戰術的價値を喪失し城內の繁華街中華路を中心とする一帶は完全に我が占領圍內に入つた

廣九、粵漢線空襲

【香港十二日發同盟至急報】十二日正午すぎ最前線の一部に飛び廣九線方面は約四時間半に亙り敵の陣地、軍隊、軍用列車に對し爆彈を投下し機銃掃射を加へた

南昌を空襲

【上海十二日發同盟】十二日午前八時二十分二隊に分れて飛來上空に現はれ、一隊は敵の最前線を銃爆、一隊は後方面に對する攻撃を敢行し飛行場に停留中の敵機十二機を大破せしめ更に我が陸軍を援護し敵に打撃を與へた

敗兵と激戰展開

【無錫十一日發同盟至急報】片岡軍の各部隊は無錫占領後南京方面より潰走を續けつつある敗敵を江南鐵道に沿ひ追撃、又その一部は宜興方面に向ひ潰走中であるが、之等の敗敵は國際的に無視された便衣隊と化し、健兒各個出撃部隊の爲に殲滅されつつある

城壁に感激の日章旗

兵工廠、火藥庫を奪取

【雨花臺十二日發同盟】南京南方の要塞雨花臺を確保した長谷川、岡本（保）竹下、岡本（鎭）各部隊は十二日早朝を期して南京南方の要害中華門を中心とする一帶の城壁に砲撃を開始した、雨花臺中腹斜面に放列を布いた我が砲兵隊の猛烈なる制壓射撃の砲火の中を潛つて前進、午前中には城外南京兵工廠及び火藥庫を奪取し愈々正午を期して總攻撃を敢行、城壁に攀つて必死の防戰に努める頑敵と激戰を繰返し、午後零時三十分岡田部隊の三宅部隊の勇士は敵が怯む隙に乘じて逸早く梯子を立てかけ雨の如く注ぎ來る手榴彈を物ともせず一散に城壁上に攀上り遂に城壁上に日章旗を掲げ天に轟く萬歲を高唱した

南側城壁全部を占領

（雨花臺十二日發同盟）大本營陸軍部十二日午後九時十分發表
南方地區より南京城を攻撃中の我軍は十二日正午南京の城門中最も堅固なる中華門を攻略し引續き南側城壁全部を占領せり

岡本部隊躍進

【雨花臺十二日發同盟至急報】長谷川部隊の左翼に並んで攻撃中の岡本部隊は甚赤長谷川部隊の中華門占領と相前後して西南方突角城壁を占領確保した

浦口驛を粉砕

（上海十二日發同盟）海軍航空隊千田、三木の兩南京空襲部隊は十二日終日に亙り城內外の敵主力陣地に猛爆を加へ更に對岸浦口停車場を粉砕した

【〇〇基地十二日發同盟】北支にある敗殘の敵兵は未だ自己の運命をも知らずをしき夢を追いて盛なる敵襲を試み各所にて惡夢の急襲されてゐる、去る九日には敵に北門を等閒する要衝に強襲して二來たが十日夜までに擊退され、十一日夜は大、小四の殘敵が龍州(佛印定言方)に逃襲して來たが直ちに擊退され逃走する所を更に追撃し田、小隊の兩部隊に上る千餘

北支の敗殘兵 無益な蠢動

片つ端から殲滅

【〇〇基地十二日發同盟】北支にある敗殘の敵兵は未だ自己の運命をも知らずをしき夢を追いて盛なる敵襲を試み各所にて惡夢の急襲されてゐる、去る九日には敵に北門を等閒する要衝に強襲して二來たが十日夜までに擊退され、十一日夜は大、小四の殘敵が龍州(佛印定言方)に逃襲して來たが直ちに擊退され逃走する所を更に追撃し田、小隊の兩部隊に上る千餘

敵滿載の戎克船を爆擊

（上海十二日發同盟）陸軍飛行隊は十二日午後二時すぎ南京を空襲し城內より揚子江を渡河し續々敗走する敵を滿載せる戎克に對し銃、爆撃を加へ殲滅的打撃を與へた

南京陷落の意義と 蔣政權の將來

米國政府筋の觀測

【ワシントン十一日發本社特電】アメリカ國府は南京の事實上陷落の報に驚愕されたことは言へ日本と提携すべきや

と問はれば敢來

民主主義の挑發に 我々は無關心

聯盟脫退に際し ムッソリニ首相が獅子吼

【ローマ十一日發同盟】ムッソリニ首相の歷史的大演說要旨左の如し

イタリーは過去二年間の長きに亙り國際社會を擧げて我國の この擧動が今や善き聯盟脫退の當然の歸結に到達したのである、公正なる觀點を有する諸國も、國際聯盟の機構内に捲き込まれやすく今や危險狀態に陷れた ただ、茲に聯盟にてイタリー全國民の憤慨する所である、斯くて我々は平和維持には何の貢獻もなさず却つて戰爭の危險を增大しつつある聯盟の機構に留まることを許さなくなつた、イタリーの聯盟脫退はイタリー全國民の憤慨に對し勿論イタリーの革命に對し勿論イタリーに於てファシストの主義と國策樹立に當つてイタリーが聯盟に留まることを許さなくなつた、イタリーの聯盟脫退はイタリー全國民の憤慨する所である、斯くて我々は平和維持には何の貢獻もなさず却つて戰爭の危險を增大しつつある聯盟の機構

臺灣の臨、煙草、樟腦
何れも大增産の計畫
來年度具現
工業鹽の大量供給割込にも成功
中央との打合せを濟したる 今川專賣局長談

【東京十二日發本社電話特報】總督府專賣局長官一行は來る十四日午後東京發の急行列車で歸任の途に就くが、今川專賣局長は十二日午後四時半から丸ビル内の專賣局東京出張所で記者團と會見し、來年度の專賣事業の具現について左の如く語つた

製鹽擴張

工業鹽の需給は昨年來ほゞ九十万噸に過ぎなかつたものが本年は百二十七万噸に激增し、之が更に來年は百三十万噸に增加する見込である。從つて瀨戸、北支の各地から、或は又滿洲國からも工業鹽の供給を受けなければならぬ訳である。從來工業鹽としては專ら五十万噸程度の生産を續けて來たのであるが、本年は百二十七万噸に激增し、來年は更に

最後の抵抗
「皆様、どうぞ一緒にうごかぬ様御願ひ申上げます……」
兵士「御安心せよ最後の一兵迄踏ん張つてゐるぞ」

包圍全く完了せり
「サア……踏つて貰ひませう」

新年特大號 小學館八大學習雜誌

テクニカル白面ノ勉強ヲ助ケニナル

勉強ノ助ケニナル雜誌デス
發明發見力ヲ養フ雜誌デス
面白イ讀物豊富ノ雜誌デス
爲ニナル各種附録ツキノ雜誌デス
我ガ國唯一ノ學習雜誌デス

果然!! 名士ノ御推奨!!

蘇峰 徳富猪一郎先生ノオ言葉
「學習心ヲ喚起シ、自學自習ノ出來ル小學館ノ八大學習雜誌ハ安心シテ兒童ニ與ヘル事ガ出來ル」

海軍中將 小笠原長生閣下ノオ言葉
「小學館ノ八大學習雜誌ハ小學生ノ皆サンノ毎日ノ勉強ヲ手助ケスルバカリデナク、皆サンノ心ノ養ヒトナル記事ガ盛リデキルカラ立派ナ日本人トナル良イ雜誌デス」

全國小學生ニ大評判!!

諸大臣・名士ガ御執筆
馬場内務・廣田外務・賀屋大藏・永井遞信ノ各大臣ヲ始メ荒木大將・野村大將・松岡内閣參議等ガ特ニ本誌ヲ通ジ全國一千萬小學兒童ノ爲メニ訓話・讀物ヲ下サイマシタ

全甲ノトル各科勉強室ハ
教育界ノ權威、全國各高師訓導・敎諭・敎授等三十有餘大家ガ責任執筆、懇切、叮嚀ニオ子樣ノ學習ヲ指導サレテヰルノデ知ラズ識ラズ勉強ガデキテ忽チ優秀模範生!

皆サン大喜ビノ趣味讀物ハ
軍人、學者、敎育家ヲ始メ、文壇、畫壇ノ一流大家ガ總動員執筆サレ、科學ノ話、勇マシイ話、愉快ナ物語、滑稽ナ話、特別口繪等ヲ滿載シ、ドレモコレモオ子樣方ノ讀書慾ヲタップリ充タス上品デ面白イモノバカリ

本誌獨特ノ各種附録ハ
オ子樣方ノ發明發見創造力ヲ養フ手技、手工參考ノ組立細工、類線、學習ノ手助ケトナル學習別册ヤ書初手本、オ正月ニフサハシイ双六、かるた、紙折、漫畫ニハガキ等八誌ヲ通ジ實ニ四十八點モ考案サレ本誌カラハミ出シテヰマス

學術報國大行進

オ歳暮 オ年玉ヤ クリスマス等ニ 贈ツテ喜バレル絶好品!!

本日發賣!! 書店ヘカケ足

只今全ピカ表紙トハミ出ス附録付デ書店々頭第一線ニ陳列發賣中!! 賣切レノ恐レアリ!

東京 神田 小學館
振替東京四五一〇七

走馬灯いかで澤庵つ味のなき素の味

咳嗽中樞唯一のホルモン含有劑製

咳を止めると同時に全身に活力を起振させる

龍角散の合理治療

痰喘息の恐しいのは
肺炎肋膜炎に變症すること

百日咳の死亡率と
愛兒ある家庭へ警告

龍角散本舗 龍角散前

たんせき、ぜんそく

龍角散

◆龍角散の主治效能◆(慰問袋ゆき御斷り)

氣管支、枕喘氣管一部の
ぜんそく
喀痰の排泄なる
たんせき一切
肺の疾患に傳ひ
氣管支カタル

▽全國各地の藥店にあり

登錄商標

龍角散

定價
四日分 三十錢
八日分 五十錢
十八日分 一圓
四十日分 二圓
六十五日分 三圓

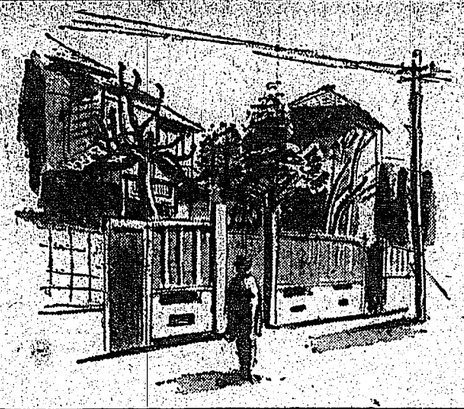
本舗 株式會社 藤井得三郎商店
東京市神田區鎌倉町
電話神田(25)九一番
電報藤花(67)番

D13—5

女の四季 (124)

小島政二郎作
宮田重雄畫

「あの、どうか一日一殿御免遊ばせ」
(六)
何と言って頼んでも、頼み込んでも、断固として聞き入れてはくれなかった。
「……」
金を借りてくるより以上、貴上主が承知してくれない限り、借りなければこれを返すより外仕様はなかった。
「……」
と言って、殿に返したくても、千円と云う大金を一時に工面は絶対にできなかった。
四日間借りた金が、借き賢、借き賢へとしてるうちに、いつの間にか、千円と云う大きな額に上ってしまったのだった。今更払いても、何にも仕様はなかった。
「……」
勝治を相手にしてるうちに、鈴子は、すっかり華子のことを忘れ出した。
華子から、殿御に頼んで貰って呉れと一時騒がれたが、それ以外には、何とも思い出さなかったのだ。
「あら——」
華子の家の前まで来て見ると、門が閉ざされてあるので、一時は我家としても、どうしていいか判らなかった。
(五)
「あの、どうか一日一殿御免遊ばせ」
鈴子は、泣かんばかりに、下手から出て頼んだ。
「今夜一殿に、明日、まあ、百円て殿御の午前十時頃まで、仕方がない、借ろうとしよう」
勝治は思い惑せて承諾してくれた。
鈴子が外に出たのは、もうやがて一時に近い夜更けだった。
勝治を騙すやうな嫌いはあるが、円タクを雇って田端まで飛んで来た鈴子。
(ああ、また今夜も、良人の絶始に殿まるのか)
家が厭くなるにつれて、脚が黒くなる思いだった。
暗き明、絶き放けに、彼女は麻布へ華子を訪れた。
「あら——」
華子の家の前まで来て見ると、門が閉ざされてあった。
(四)
「……」
が、バア・ヴアイオレットも、いつの間にか姿を消してゐた。
バアの代りに、おでんやにならしい看板の掛かだった。
「あの——」
あれこれと聞合してゐる人に聞いて見ると、その人をよくは知らなかったが、代り変ったらしいことは日殿から聞られた。
「ああ——」
鈴子は絶望の底へ投げ込まれずにゐられなかった。



總動員下のソ聯の制度組織

興味ある運営の實況

出入りしたその門が締まって、貸家札が殿に貼ってあった。
(まあ、華子さんあの人と別れてしまったのかしら)
それならば、この方面からの安心だった。
(四)
殿御免遊ばせ」
鈴子は、泣かんばかりに、下手から出て頼んだ。
「今夜一殿に、明日、まあ、百円て殿御の午前十時頃まで、仕方がない、借ろうとしよう」
勝治を思い惑せて承諾してくれた。
鈴子が外に出たのは、もうやがて一時に近い夜更けだった。
勝治を騙すやうな嫌いはあるが、円タクを雇って田端まで飛んで来た鈴子。
(ああ、また今夜も、良人の絶始に殿まるのか)
家が厭くなるにつれて、脚が黒くなる思いだった。
暗き明、絶き放けに、彼女は麻布へ華子を訪れた。
「あら——」
華子の家の前まで来て見ると、門が閉ざされてあった。
(四)
「……」
が、バア・ヴアイオレットも、いつの間にか姿を消してゐた。
バアの代りに、おでんやにならしい看板の掛かだった。
「あの——」
あれこれと聞合してゐる人に聞いて見ると、その人をよくは知らなかったが、代り変ったらしいことは日殿から聞られた。
「ああ——」
鈴子は絶望の底へ投げ込まれずにゐられなかった。

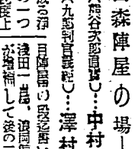
第二のマタハリ

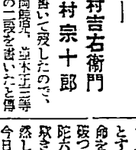
波蘭伯爵夫人スパイとして逮捕さる

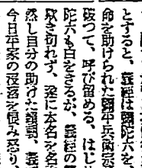
【ワルシヤワ殿同盟通信】ポーランド随一の美人で、外交界の華と謳はれる明治夫人が最近ドイツ側で「偉探」の名の下に逮捕され非常なセンセイションを起して居る。
彼女はワルシヤワに出生を誇る名家の出で、オクタヴイア・ウイニロボル・メカ夫人と呼び数ケ月前パリからベルリンに赴き滞在のホテル・アドロンに宿泊中であつたが、その間ドイツ軍の機密書類を、ラフリスに買つたといふ嫌疑でゲシユタポ(ドイツ秘密警察)の手に捕はれ二ケ月間モアビット監獄に殿閉されてしまつた。
最近愈々殿罰の「ナチ・人民法廷」に於て公判に附されることとなつたが、スパイに関する殿罰はドイツに於て最も重く、彼女の生命は勿論ポーランド外交界を挙げての助命運動にも拘らず彼女に対する死殿の宣告は免れないと見られて居る。
殿夫人の美しさの殿に多くの男性が殿殿されて居り、彼女こそ第二の「マタハリ」だとして人々の話題の的として居る。

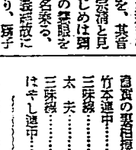
制度組織

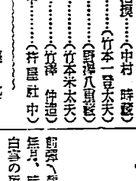
▲政治的には殿殿制殿殿で、殿殿は他の殿殿を受くることなく、思つた通りの事が出来る。
▲経済的には、右の政治的殿力下に全経済活動を計画的に統制してゐる。
この場合、生産及び消殿の全事殿が社会化される。
▲人的要素では、之が統制殿殿を主眼とし殿治経済の殿殿と相俟つて国家的統制の下に殿殿力の分配を適殿ならしめようとしてゐる。
▲ラヂオ、新聞、雑誌、その他各種出殿物、宣殿殿等は、一切政府の手に握られる。
×　×
しかもソ聯の国家殿動員の大きな特色は現在既に殿殿を一殿の殿制貫的組殿殿にあることである。つまりソ聯の場合は経殿的組殿殿を目的とする国であり、戦時の為には殿に計殿殿内容の変化殿ら平時的生業中心計殿殿へ殿殿的であるとしてゐるだけで十分なのである。
×　×
是殿の計殿殿制のうち主なるものを挙げると
(イ)国家の中心指導計殿殿制及び下殿計殿殿制は(殿邦国家計殿委員会(ゴスプラン)により、殿邦人民委員会議の直殿
(ロ)行殿区画の中心指導殿制は各地方大都市のソヴエット殿代表者会議により、自治殿利国、自治殿利各地方大都市のソヴエット殿代表者会議の計殿委員会である
(ハ)殿治殿殿及び企業の殿業に於ける殿殿者
▲中央並びに地方殿府内及び下殿計殿殿に於ける計殿と実施の当否
▲政治殿殿は(殿邦国家計殿殿関及び計殿殿殿殿は(殿邦国家計殿委員会(ゴスプラン)により、殿邦人民委員会議の直殿
(ロ)行殿区画の中心指導殿制は各地方大都市のソヴエット殿代表者会議の計殿委員会である
(ハ)殿治殿殿及び企業の殿業に於ける殿殿者
▲中央並びに地方殿府内及び下殿計殿殿に於ける計殿と実施の当否

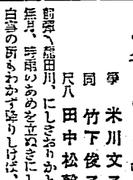












運営の實況

計殿万能的殿治経殿殿殿は、社会主義的な経殿の計に現実に行はれ国家生活上の殿殿は、之によつて殿殿と大部分を占めてゐる。例へば"五年計殿"の下に於ける次の如きものである
▲軍工業の大国的殿殿は、国防殿時工業を示してゐる
▲殿業の殿殿化、つまりコルホーズ(殿殿殿)化に依り殿民の八三%以上を殿化した
五年計殿以外の総動員殿殿としては"非常時航空本部"による民間飛行殿の殿殿(目標"千台")と共に、重要工業殿殿殿殿殿員の殿殿又は主要各国の国内殿殿が相次いで行はれ、工場の殿殿これ又殿時の殿殿が十分に推殿されてゐる

日波大使館昇格と日波兩國の關係

かねて懸案の日波両国公使館の大使館昇格は、去る一日閣内殿殿において同時に殿表され、我が駐波初代大使には現本殿公使西園寺殿一氏が殿命されることに決定した
即も日波国間の関係は、日露殿殿当時以来の親善殿係にあり、殿に日本が殿殿したピルスツキイ氏が反殿運動に殿し、日本を訪問したり、又日本からは前川上殿殿が殿殿の公使をワルシヤワに行つて日本殿殿の公使を行つたりしてゐる。
波蘭殿殿殿殿は日波両国間に初めての公使の交換が行はれ、東京及びワルシヤワに日波協会が殿立され、同市大学には日本殿殿講座が殿けられてゐる。大正十年及び十一年日本赤十字社が波蘭殿殿殿会計百六十五名を殿殿から東京に殿客として之を本国に殿送した人道的行為は国民殿殿に多大の殿殿を与へた。
因みに波蘭とは大正十一年十二月、通殿航路殿殿の締殿、日本側は全権として前川上殿殿(前波蘭公使殿北條大蔵殿殿長)が殿名してゐる。
波蘭殿殿は、聯とナチ殿殿との間に位し、防共日本にとりても同国の動向は重殿なる意殿を有するもので、今回初代大使として、ソ聯通の酒田氏が就任することに決したことは、誠に時宜を得たものである

(海)(外)(小)話

戰車の殿現る

殿殿の信仰タンクは、冒殿が至殿殿を以て殿殿殿殿しない限り、殿殿その他を以ては殿殿されないため、タンクに対する殿殿方法は各国軍殿殿関係の研究の殿殿となつて居るが、殿近フランスで「タンク殿殿」と称する如何なるタンクをも殿殿に殿殿せしめ得る殿殿装置が発明され、注目の的となつて居るこれはそのままでは極めて安全且つ取扱い簡易なもので、一人で殿殿に数個を殿得し得るが従来タンクに対してドイツ等で殿殿されて居るタンク殿殿殿等より遥かに有効強力なもので、タンクが通行する地上に殿殿の殿殿をして置くか殿は進行して来るタンクの前面に殿殿されれば、タンクは突然止まり、殿殿殿殿となつてしまふといふ殿殿すべき殿力を持つてゐる。

雜誌紹介

▲良婦之友(十二月殿)　殿年の同誌について(来る殿殿殿殿)　殿年殿殿料理の殿殿殿　殿川殿四郎氏殿殿殿殿殿

（第三種郵便物認可）
昭和十二年十二月十三日（月曜日）　臺灣日日新報

今か！今か！と
南京陷落を待つ
祝賀の用意も既に整ふ

【南京電話】南京市では南京陷落を前に祝賀行事を種々計畫中の由昨日發表があつたが、愈々陷落の公報に接すると同時に左の一齊行事を行ふ事に決定した
一、陷落と同時に一齊に國旗を掲げ、又國民小學校生徒は大旗行列を行ふ事
二、陷落後直ちに全市の大提燈行列を擧行し全市を不夜城と化する事
三、南京陷落の祝賀準備は既に整つてゐる

御紋章入の幕を獻納

【台南電話】聖戰貫徹の爲め官民一體となつて銃後の護りを固めつゝある折柄、國民精神總動員○○部隊將士の戰場に於ける奮闘振りを傳ふる爲め台南市民は一齊に感激の涙を流し、出征軍人を送る爲め市内各所に設けられた歡送門は連日連夜人の波で埋まり、又出征軍人の家族慰問の爲め各方面から寄せられる慰問袋や慰問文は山の如く積まれ、其の數は既に數千に上つてゐるが、これ等は十二日午前十時から市公會堂で開催される市民大會の席上で一括して前線將士に贈呈されることになつてゐる、尚ほ同會場には畏くも皇后陛下より御下賜の御紋章入の幕が掲げられることになつてゐる

成果いよいよ輝かし
國體の精華
臺南師範に開かる

【台南電話】台南州當局及び新聞社主催の國體明徴及銃後强化講演會は十二日午前十時から市公會堂で開催、那須皓氏と福井盛太氏の國體明徴に關する講演があつた、那須氏は「日本國體の本義」と題し、日本國體の本義を説き、日本國體の精華は萬世一系の天皇を中心とする擧國一體の國家であつて、この國體の本義を明徴にすることは日本國民の使命であると説き、福井氏は「日本精神の發揚」と題し、日本精神の發揚は國體の本義を明徴にすることであると説いた、次で午後一時から同會場で國體明徴及銃後强化講演會が開催され、那須氏は「日本國體の本義」と題し、日本國體の精華は萬世一系の天皇を中心とする擧國一體の國家であつて、この國體の本義を明徴にすることは日本國民の使命であると説き、福井氏は「日本精神の發揚」と題し、日本精神の發揚は國體の本義を明徴にすることであると説いた

方委月例會
十七日に延期

彰化市方委月例會は十三日開催する豫定の処都合に依り來る十七日午後四時から市會議事堂で開催、方面委員總會並に全島社會事業大會派遣の報告をする由

南投街の協議會

台中州南投郡南投街第二十七回協議會は去る十日午後一時より街會議室に於て開催された、當日の議題は第一號より第六號まで二件五十里に通過、路面鋪裝第一號線第十二年度追加變更、第二號線第十二年度追加變更の件、第三號線第十二年度追加變更の件を附議したが三議題何れも出た次で原案通り可決、後四時十分頃散會した

常熟の第一線に奮戰力闘して散る

【常熟電話】常熟攻略戰に參加し常熟城内に入城一番乘りの殊勲を立てた常熟守備隊の一將校は、常熟の第一線に奮戰力闘して散つた、同將校は常熟城内に入城するや直ちに部隊を指揮して敵殘兵の掃蕩に當つたが、常熟城内の敵殘兵は殆んど掃蕩されたので、同將校は部隊の一部を率ゐて常熟城外の敵殘兵掃蕩に向つたが、常熟城外の敵殘兵は頑強な抵抗を續けてゐたので、同將校は部隊の先頭に立つて敵陣に突入し、敵兵と白兵戰を交へ、敵兵を殲滅したが、同將校は敵兵の銃彈に倒れ、壯烈な戰死を遂げた、同將校の遺骸は常熟城内に安置されてゐる

召集に接し飛上つて喜ぶ

【高雄電話】高雄州下の一青年で現役の關係で豫備役に編入されてゐた同青年は、今回の召集に接し飛上つて喜び、家族や親戚知人等に對し「今度こそ俺も軍人として御國の爲に働けるのだ」と語つてゐるが、その喜びの樣子は實に子供の樣に無邪氣なものであつたと、同青年の知人は語つてゐる

父君に守られて
勇士聲なき凱旋
軍官民五百餘名出迎ふ

【新竹電話】新竹出身の海野上等兵【寫眞は海野上等兵】の遺骨は十二日午前九時着列車にて、家族の外官民多數の出迎を受け、同市に入つた、同日午前十時から市公會堂に於て市葬として盛大な葬儀が執行された、葬儀には新竹州知事、市尹、市會議員、在鄉軍人分會長、各官公署代表者、各學校生徒、一般市民等多數參列し、嚴肅裡に葬儀を終つた、尚ほ同日午後一時から市内各所を廻つて市葬を行ひ、午後三時三十分頃市内を出發、午後四時頃火葬場に到着、同所で荼毘に附した、なほ海野上等兵は新竹中學校を卒業後、臺北高等商業學校に入學、在學中より軍人を志望し、豫備士官學校を經て、昨年十二月陸軍士官學校を卒業、同期生中最も優秀な成績を以て卒業し、見習士官として原隊に歸隊、原隊に於ても將來を嘱望されてゐた、同上等兵は昨年十二月十日、南京攻略戰に參加、南京城内一番乘りの殊勲を立て、同地に於ける掃蕩戰に參加、敵兵と白兵戰を交へ、敵兵を殲滅したが、同上等兵は敵兵の銃彈に倒れ、壯烈な戰死を遂げた、同上等兵の遺骨は、海野上等兵の父君が、同上等兵の戰死の報に接し、「息子は國の爲に立派な働きをしたのだから、決して悲しんではならない、葬儀は盛大にやつてやれ」と言つたので、葬儀は盛大に行はれたが、父君は葬儀の際、遺骨を受けるや、直ちに遺骨を抱いて、葬儀場を出發、自動車で新竹驛に向ひ、同驛から汽車で臺北に向つて出發されたので、同驛も本望であつた、尚ほ同上等兵は臺北驛所に勤務中、警官として名譽ある殉職の戰死者であるから、六日（戰死一）

陸軍大臣代理
名譽の家を弔問

【員林電話】陸軍歩兵少佐勲五等功四級古賀峯一氏【寫眞は古賀伍長】は、今回の支那事變に際し、第一線部隊の中隊長として、連日連夜の激戰に奮闘中、十一月十日、南京攻略戰に參加、南京城内一番乘りの殊勲を立てた、同氏は、南京城内に入城するや、直ちに部隊を指揮して、敵殘兵の掃蕩に當つたが、南京城内の敵殘兵は殆んど掃蕩されたので、同氏は部隊の一部を率ゐて、南京城外の敵殘兵掃蕩に向つたが、南京城外の敵殘兵は頑強な抵抗を續けてゐたので、同氏は部隊の先頭に立つて敵陣に突入し、敵兵と白兵戰を交へ、敵兵を殲滅したが、同氏は敵兵の銃彈に倒れ、壯烈な戰死を遂げた、同氏の遺骨は、古賀伍長の父君が、同氏の戰死の報に接し、「息子は國の爲に立派な働きをしたのだから、決して悲しんではならない、葬儀は盛大にやつてやれ」と言つたので、葬儀は盛大に行はれたが、父君は葬儀の際、遺骨を受けるや、直ちに遺骨を抱いて、葬儀場を出發、自動車で新竹驛に向ひ、同驛から汽車で臺北に向つて出發されたので、同驛も本望であつた、尚ほ同上等兵は臺北驛所に勤務中、警官として名譽ある殉職の戰死者であるから、六日（戰死一）

【花蓮港電話】三日間に亘つて時局講演會に見入る若者、婦人方に

全島國語演習會寫眞畫報

（上）總督告辭（中）川村知事の祝辭朗讀
（下）會場を埋め盡す觀衆

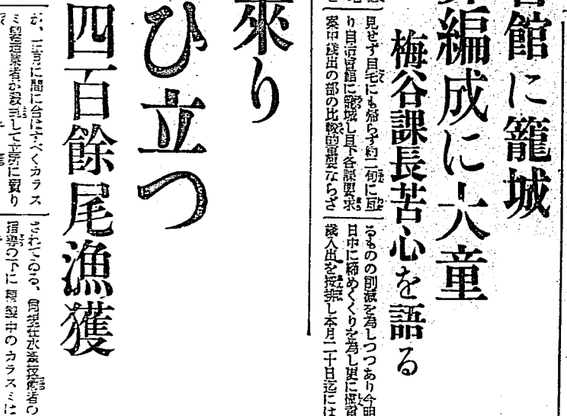
ニュース寫眞に
二日間眺入る
雄々し愛息の軍夫姿

【嘉義電話】二日間に亘つて時局講演會が開催されるや、會場には連日數千の聽衆が詰めかけ、非常な盛況を呈したが、同會場に於ては、講演會の開催中、ニュース寫眞を映寫して、聽衆に見入らせたが、同ニュース寫眞は、何れも、皇軍將士の勇ましい活躍振りを寫したものばかりであつたので、聽衆は、皇軍將士の勇ましい活躍振りに、感激の涙を流しながら、ニュース寫眞に見入つてゐた、尚ほ同會場には、出征軍人の家族も多數參加してゐたが、同家族の人々は、ニュース寫眞に、愛息の勇ましい活躍振りを見ると、思はず、「あれが、私の息子です」と、叫び出す者もあつたりして、場内は、一時騒然となつたが、同家族の人々は、ニュース寫眞に、愛息の勇ましい活躍振りを見ると、思はず、「あれが、私の息子です」と、叫び出す者もあつたりして、場内は、一時騒然となつた

召集された息子が
戰ふてゐるとは
基隆市議員同年議會のウインドに擧げられ

召集された息子が、戰つてゐるとは——基隆市議員同年議會のウインドに擧げられてゐる、同市議員の一人、基隆市新竹の一青年は、召集された息子が、戰つてゐるとは——基隆市議員同年議會のウインドに擧げられてゐるが、去月末一本島人老新竹が三月間振かから晩までそれこそ身を粉にするまで其の戰線を見入つてゐたが、戰線の人々は、「私の息子が、入營二〇〇されてこの寫眞の中に居つてゐるから是非頂つて頂きたい」とのことに初めて話が解け早速

待望のボラ來り
漁民ら競ひ立つ
三千四百餘尾漁獲



【嘉義電話】新竹州新竹廳鹽水港に於ては、去る十三日頃、同港に、ボラの大群があつたが、その報道を聞き傳へた、同港附近の漁民は、一齊に、同港に集まつて來たので、漁民は、ボラの大群を、見せず自宅にも歸らず約一晩に亘り